

循環器内科	
診療科目：循環器内科	
診療科担当研修責任者名： 猪又 孝元（循環器内科診療科長）	
診療科連絡先担当者名： 高山 亜美（循環器内科総括医長）	
受入期間：１ヶ月以上（相談可）	同時受け入れ可能数：５人以内
◇◇学会認定専門医数◇◇	
総合内科専門医11人、循環器専門医14人、心血管インターベンション学会専門医1人、不整脈専門医3人、日本超音波学会専門医1人、臨床検査専門医1人	
◇◇学会認定指導医数◇◇	
日本内科学会指導医13人、日本循環器学会指導医8人	
診療科の概説・特徴	診療科研修の特徴
新潟大学循環器内科学教室は、明治43年に設立された旧第一内科を母体とし、平成24年の内科再編により設立された伝統のある教室です。近年増加の一途をたどる心血管疾患に対して、高度な専門医療および地域を支える医療、その基礎となる研究および教育に取り組んでいます。心血管カテーテル治療、心不全、不整脈の3グループが、それぞれ専門性の高い治療を提供し、年間250件以上の冠動脈カテーテ治療、100件以上の血管内治療および構造的心疾患に対するカテーテル治療、200件以上の不整脈カテーテル心筋焼灼術の他、経カテーテル的な大動脈弁置換術(TAVI)や僧帽弁接合不全収縮術(MitraClip)、特異的治療のある二次性心筋症症例、肺高血圧症症例や心移植および補助人工心臓の検討が必要な症例などへの集学的治療、左心耳閉鎖デバイス(WATCHMAN)、リード拔去術などの先進的治療へも取り組んでおります。埋め込み型心臓デバイスの埋め込み数でも全国有数です。多部署、多職種と連携し循環器救急〜心臓リハビリテーションを軸とした「支える医療」にも取り組んでいます。各人の興味や事情に合わせ、幅広い研修を用意しております。	① 前期研修では、内科医としての全身診療技量を身につけることを最重要に考えます。循環器疾患については診断から治療、緊急対応、そしてその土台となる基礎的背景までの専門的な研修を行い、生涯の医師としての診療と研鑽に役立つ研修を行っています。 ② 病棟では指導医と若手循環器内科医によるチーム主治医制とし、研修医はその一員として主体的に診療に関わり、循環器疾患一例一例に対してきめ細かな指導を受けることで、質の高い研修が可能です。 ③ 循環器疾患における検査手技について： 救急診療において必須である12誘導心電図および心エコー図でのスクリーニング検査など習得が可能であり、臨床医としての基本的な質を高めることができます。心臓カテーテル検査・冠動脈形成術、電気生理検査・カテーテル心筋焼灼術、ペースメーカー・植込み型除細動器の植込みおよび管理なども経験することが可能です。 ④ 急性心筋梗塞、急性心不全、発作性不整脈など救急処置を必要とする循環器疾患への対応も重要な研修項目であり、救急部との連携のもとに研修でき、また集中治療室での全身管理の基礎を学ぶこともできます。 ⑤ 近年高齢化により増加の一途をたどる、慢性心不全患者に対するリハビリを含めた包括的医療など、一般内科へも通ずる総合的な管理も実践できます。 ⑥ 検討会を通してプレゼンテーション能力を養うとともに、臨床研究の立案など探求的思考の習得も目指して、教育を行っています。